

Sor. M. Kobayashi  
小林美登利  
Caixa, 2-Z

No. 277

# SEMANARIO DE SÃO PAULO

22-Abril-1927

農家が豫想して居つた、今年度の穀の値はリブレ依十八ミルから二十ミル台見當であつた。現今的一般諸物價に比較して、穀依十八ミル台は、決して不當の値でない事は、カマラーダ貿銀が一人食付の六ミル内外を要求し得る處からも、農家にとてはボロ賣らないでない。

それで穀持つ農家が、昨今の穀値、ボストン、エスター・ソンの十四ミル台では、カレット、サッコ代他の費用引純益三ミル乃至四ミルの場合は、賣惜み氣味旺達して居る態は、無理からぬ心事である。

延引ならぬ借金の返済に責められてか、或は突發の物入りの剝離渡し、依十四ミルの昨今の値で放せば、利益は少くとも、損はない値である。

だが今年の穀の値は、年末の同様初期の直下である。

本年の穀の値は、年未の同様初期の直下である。

今より値が下れば半である。今年の穀の値、終りには糠嬉びに了らぬであろうか。

要は自家生活の肚加減から、相當な値を見て手放す事だ。

餘り永く値好みして、賣惜みすれば、もみも生娘と一般、何日の間にやら虫がつくものである。

## 賣惜み

# 聖 キ 新 報

社主兼編輯人	香山六實	購讀料
一段	一回	100,000
二段	全	150,000

半額分全

100,000

後金

100,000

## 上田商店

### 農產物

ノロエスチ線

ア、アルベス真前

寄宿舍、夜學校、日本語科、葡語通信教授、

聖州義塾

主任 小林美登利  
場所 サンバウロ教會  
日曜午后八時

R. Galvão Bueno, 85  
Caixa, 2-Z S. Paulo

農產物買入

アラサツバ驛唯一の邦人宿  
仲買商 雜穀  
藤井正人

ノロエスチ線アラサツバ驛前  
館主 伊藤作太郎

御旅館 伊藤仁郎

ノロエスチ線セルケーラザ  
藤函拾四番

Compra  
Café e Cereais  
M. FUZIY

Caixa, 8 Promissão

カエフー雑仲買  
白米御用の方へは  
何時にも御用命に應じます

藤井正人

Hotel Japonez

仲買

雜穀

日本旅館  
渡嘉敷唯正

北西線プロミツソン駅  
郵函二七

ノロエスチ線アラサツバ驛前  
郵函八番

ノロエスチ線セルケーラザ  
藤函拾四番

ノロエスチ線アラサツバ驛前  
郵函八番

ノロエスチ線セルケーラザ  
藤函拾四番

ノ









お紹は長左衛門の養女となつた。兄小平太とは音信を絶つてゐる。男優の彼女は、兄や兄の一味が亡君の御趣意を報するに就て、議論の一一致せぬのをもどかしかつた。結果、女ながらも長左衛門を利用して、吉良上野介に一大功報いた。上杉家は二十萬石の大名、一と覺悟した。それは上野介か、近い将来に於て、上杉家の邸内へ隠居するとの確報を得たからである。上杉家は親連枝もある、上野介一た門に親連枝もある、上野介一たびその邸へ入れば、尾羽打ち枯らしを切つても手を觸れる事はないまゝ。その時、我身の懷中深く秘めあらる七首が朝走る、女ながら後野家の釜の湯氣で育つた血の色が見せい。お紹は斯う覺悟して、長左衛門の許にゐた、最も柔順に、最も淑良に、養父其他に事へてゐた。お紹が長左衛門を利用して最後外れた。

けれど其の爲に、最初の希望は利用しようかとの相談は、屡次五衛門と長左衛門との間に取交された、斯くして赤穂浪士を自滅させて、上野介を安泰の地に置くは、主に對して此上もない忠義である。お紹を養女に向へるに就ては、上杉家の重役も内々相談に預つてゐる、藩主彈正大弼も同意して居る、それで時々長左衛門に對つて、



## 女忠臣

(八十)

岩

瑞 璃 園

「わたくしと兄との間には、深い溝が生きて居ります」

お紹は聞くごとに肉の躍る心がします。

た。

お紹は

聞

く

こと

肉

の

躍

る

心

が

し

ま

す

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か